

調達管理番号・案件名
25a00388_トルコ国地方行政官向け災害リスク管理能力向上プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2025年9月22日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第3条 実施方針及び留意事項 2. 本業務に係る実施方針及び留意事項	「～本プロジェクトで研修内容を検討するにあたっては、各自治体向けに行った本邦研修内容やフィードバックを踏まえて検討を行い、地域レベルの防災力向上の相乗効果を含め検討する」と記載がございます。標記業務の本邦研修内容やフィードバック等を共有いただくことは可能でしょうか。	トルコ事務所代表連絡先(tk_oso_rep@jica.go.jp)宛て、件名: (資料提供依頼) 地方自治体の災害リスク管理及び廃棄物管理能力向上プロジェクト、にてご連絡ください。 実施中案件「地方自治体の災害リスク管理及び廃棄物管理能力向上プロジェクト」にて、昨年度実施した本邦研修レポートを共有いたします。
2	10	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第3条 実施方針及び留意事項 (3)その他	(3)その他の①トルコ側主催のワークショップに関してのご質問でございます。 知見共有の有用な機会であり本事業との関連性も強いことから業務計画において、同ワークショップを考慮することは必須であると考えております。したがって、同ワークショップの想定される時期(年度のどの四半期に開催されるか等の概要で構いません)及び、ワークショップの実施案について現時点のものがあれば、共有いただくことは可能でしょうか。	基本的には、トルコ現地国内研修の実施時期に合わせての実施を検討されています。現時点でトルコ側から共有されている内容を共有いたします。 添付資料「ワークショップ概要(暫定版)」をご確認ください。
3	11	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第4条 業務の内容	① 成果1に関する活動において「特に、JICA が別途派遣する外部人材からの助言内容の取り纏めを担当する」と記載がございますが、この方のご専門(防災行政「都市防災(建築・インフラ防災)等)はどのような分野になりますでしょうか。	外部人材は日本国内で防災行政の従事経験がある現役の国家公務員の方を想定しております。
4	11	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第4条 業務の内容 2. 本業務にかかる事項	成果②に関する活動内に「～ならびに防災主流化にむけた取り組みも踏まえ～」と記載がございます。この記述は一般論なのか、若しくは具体的な貴機構のプロジェクトまたは、現地でのプロジェクトや取り組み等を指しているのか、どちらになりますでしょうか。もし具体的な活動であれば、資料等をご共有いただけますでしょうか。	JICA グローバル・アジェンダ(課題別事業戦略)「20. 防災・復興を通じた災害リスク削減」で掲げる分野横断的な取組として、防災主流化を掲げており、それに則して提案頂きたいという趣旨です。 https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/disaster/ku57pq00002cy5n0-att/disaster_text.pdf
5	12	【2】特記仕様書案第4条業務の内容 ③成果3に関する活動<現地国内研修について>	現地国内研修は全4回、各回約30名の参加とされていますが、全81県から最大2名ずつの参加を想定し、すべての県からの参加があるとの理解でよろしいでしょうか。	今後、県知事・副県知事・郡長に派遣予定の地方行政官を対象としておりますが、配属先は研修実施時点で未定です。

6	12	【2】特記仕様書案第4条業務の内容<現地国内研修について>および<本邦研修について>	R/DのAnnex9を確認したところ、本邦研修プログラムは地震防災および震災復興を主軸に構成されています。したがって、トルコ国内研修において災害種が明記されていないプログラムについては、地震防災を中心とする内容になるものと理解しておりますが、相違ございませんでしょうか？	本プロジェクトで開発予定の研修内容・教材は、トルコにおける災害全般となります。トルコでの現地国内研修のフィードバックに応じて、地震防災に関わらず、本邦研修で必要な内容をご提案頂けると幸いです。
7	13	第2章 【2】特記仕様書(案)第4条 業務の内容 2. 本業務にかかる事業 (1) プロジェクトの活動に関する業務 ③成果3に関する活動	トルコ現地国内研修の実施時期について、初回を2025年12月に計画されているが、2025年11月の業務開始直後のため、十分な研修準備期間が確保できない可能性がある。この実施時期の変更は想定されているか。	トルコ内務省側の都合により初回のトルコ現地国内研修の予定は変更できません。
8	13	【2】特記仕様書案第4条業務の内容 ③成果3に関する活動<現地国内研修について>	「同じ研修内容を計4回実施」と記載されていますが、活動3－3に「評価を踏まえ、研修内容を再度見直す」とあるため、2026年5月に予定されている現地国内研修の内容が、2025年12月に予定されている研修内容と大きく異なる場合がありますとの理解で相違ございませんでしょうか	ご理解の通りです。
9	14	【2】特記仕様書案第4条業務の内容 (2)本邦研修・招へいについて	参加者数が約15名／回となっていますが、この人数には内務省研修局の参加者も含まれておりますでしょうか。含まれている場合、想定人数をご教示いただけますと幸いです。	トルコ現地国内研修を踏まえ、今後、詳細議論予定ですが、内務省研修局の参加者も含む想定です。
10	14	【2】特記仕様書案第4条業務の内容 (2)本邦研修・招へいについて	「本邦研修・招へいを実施する」と記載されていますが、本業務においては本邦招へいは実施しないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
11	21	別紙 案件概要表 (8)他事業、他開発協力機関等との連携・役割分担	案件概要表の(8)に関して質問がございます。現在複数の事業が実施中ではございますが、配布資料には報告書等がございません。本件業務における提案書作成に際して参考にしなく、それらの報告書や成果等の共有を頂くことは可能でございますでしょうか。	トルコ事務所代表連絡先(tk_oso_rep@jica.go.jp)宛て、件名: (資料提供依頼) 地方自治体の災害リスク管理及び廃棄物管理能力向上プロジェクト、にてご連絡ください。 実施中案件「地方自治体の災害リスク管理及び廃棄物管理能力向上プロジェクト」にて、昨年度実施した本邦研修レポートを共有いたします。その他、配付可能な資料はございません。
12	31	第3章 2. 業務実施上の条件 (1) 業務工程	2025年12月と2026年5月にトルコ現地国内研修実施が条件となっているが、この業務工程の変更提案は認められるか。	初回の2025年12月については変更不可。2026年5月についても、トルコ内務省の既存の地方行政官向け一般研修スケジュールを避ける時期に設定しているため、基本的には変更は難しい想定です。

以上

【質問番号 2】 添付資料：ワークショップ概要（暫定版）

IN-SERVICE TRAINING SEMINAR FOR THE JAPANESE DELEGATION WITHIN THE SCOPE OF THE EXPERIENCE
SHARING PROJECT IN DISASTER-RESILIENT SOCIETY

No. of S.Numb er	SUBJECT	CLASS HOURS	FACULTY MEMBER/TRAINER SUGGESTIONS
1	Türkiye's Disaster Management System * Systematization of Türkiye's Disaster Management * Disaster Management System at Central and Local Level * Institutional Restructuring at Central and Local Level Use of Technology in Disaster Management in Türkiye * Risk Reduction, Intervention and Recovery Processes	1 hour	AFAD DRAGM AFAD YHGM BSHDB
2	Disaster Management Policies and Disaster-Related Plans in Türkiye * Turkey Disaster Management Strategy Document and Action Plan (TAYSB) * Turkey Disaster Risk Reduction Plan (TARAP) - Provincial Disaster Risk Reduction Plan (IRAP) * Turkey Disaster Response Plan (TAMP)	1 hour	AFAD DRAGM AFAD AMGM AFAD BYİGM
3	Disaster Risk Reduction and Preparedness Studies in Türkiye * Disaster Risk Reduction Studies and Sample Practices * Preparation Phase Activities and Sample Practices * Activities Carried Out Within the Scope of the Disaster Ready Türkiye Project	1 hour	AFAD DRAGM
4	Türkiye's Disaster Response Processes * Structure and Operation of Disaster Management Centers * Dynamic Incident Scene Management * Sharing of Experience on Disaster Response Work	2 hours	AFAD AMGM
5	Türkiye's Post-Disaster Recovery Efforts * Meeting the Need for Temporary Shelter * General Life Impact and Damage Assessment Studies * Entitlement Processes * Recovery Works After the February 6, 2023 Kahramanmaraş Earthquakes	2 hours	AFAD BYİGM
6	Lessons Learned and Precautions Taken After Earthquakes in Türkiye * What Happened in the August 17, 1999 Marmara Earthquake and the February 6, 2023 Kahramanmaraş Earthquake		Lecture will be give in the field.
TOTAL CLASS HOURS		7	

Note: 1. The program is planned to consist of a total of 7 lesson hours, from 10:00 AM to 5:45 PM. 2. At the end of the training, there will be a study trip to Kahramanmaraş province. Topic 6 will be held in the province.